

2019年度事業報告書

The logo consists of a dark blue rectangular background. In the center is a large red circle. Overlaid on the circle and the background is the text "日本ろう者柔道協会" in white Japanese characters. The character "ろ" (ro) is partially obscured by the red circle.

日本ろう者柔道協会

自 2019 年 10 月 26 日
至 2020 年 3 月 31 日

一般社団法人 日本ろう者柔道協会

1. 団体の設立と一般社団法人格取得について

1-1. 団体設立総会（説明会）の開催

日 時：2019 年 10 月 26 日（土）

場 所：成田商工会議所（千葉県成田市）

参 加：選手 5 名、理事 3 名（小椋・倉野・小林）、監事 1 名（向川）、 計 11 名

<説明会説明内容>

(1) 「日本ろう者柔道協会」団体概要について

(2) 今後の活動について

(3) 定款・各種規程・予算案の説明

(4) 団体の会員制度、入会について

(5) 2020 年 4 月開催の世界ろう者柔道選手権大会（フランス）について

・2020 年 4 月 14 日（火）～19 日（日） 開催地：フランス（ベルサイユ）

競技実施階級等の説明

※世界ろう者柔道選手権大会（フランス）日本代表選手選考会について説明（2020 年 2 月）

(6) 質疑応答

1-2. 設立総会について

日 時：2019 年 10 月 26 日（土）

場 所：成田商工会議所（千葉県成田市）

参 加：小椋・倉野・小林・向川監事

<議題>

下記の議題に対して審議を行い、全て承認され「日本ろう者柔道協会」の設立が承認されました。

(1) 団体の設立について

(2) 役員を選任について

(3) 定款・各種規程案について

(4) 2019 年度予算案について

(5) 2019 年度事業計画について

(6) 本店の具体的所在場所について

<役員体制>

代表理事（理事長）：小椋武夫

常務理事：倉野直紀

理事：小林 泉

監事：鈴木啓示

監事：向川純平

また、定款に定められた下記の事業を進めていくことを確認しました。

- ・ろう者の柔道競技の普及・発展・競技力の向上に関する事業
- ・ろう者柔道競技大会の開催事業
- ・ろう者の柔道に関する調査・研究事業
- ・ろう者の国際柔道競技大会への代表選手選定・派遣事業

- ・ろう者の柔道に関する広告・出版等の商品販売事業
- ・ろう者の柔道に関する手話通訳者及び情報保障者の養成事業

1－3．一般社団法人格の取得

ろう者柔道団体として、透明性・公平性のある運営をするため、また、日本障がい者スポーツ協会（J P S A）登録、日本パラリンピック委員会（J P C）加盟をめざすため、任意団体ではなく法人格（一般社団法人）を取得することとしました。

登記については司法書士に依頼をし、設立時社員を3名として一般社団法人格を2019年12月27日に取得し、「一般社団法人日本ろう者柔道協会」を設立しました。

1－4．日本障がい者スポーツ協会の登録、日本パラリンピック委員会の加盟

選手強化や大会派遣等を円滑に行うため、障害者スポーツの統括団体である日本障がい者スポーツ協会への登録、及び日本パラリンピック委員会の加盟申請を行いました。ろう者武道競技でのJ P C既存の加盟団体である「(一社) 日本ろう武道連盟」との関係もあり（同一競技で複数団体の登録・加盟は認められていない）、今年度については申請が却下となりましたが、既存団体の再編も含めて再度2020年度に登録・加盟申請を行います。

2．選手選考・強化活動

2－1．順天堂大学柔道部との合同強化合宿の開催

日 時：2019年10月26日（土）、27日（日）

場 所：順天堂大学 さくらキャンパス（千葉県印西市）

参 加：選手5名、小椋・倉野・小林・事務局（2名）

協 力：順天堂大学柔道部の皆さま

順天堂大学 竹澤稔裕先生、広島国際大学 瀬川洋先生

総 括：順天堂大学柔道部の皆さまにご協力いただき、合同で練習を行いました。限られた時間の中で、打ち込みや乱取り、そして寝技の練習などを入念に行いました。そんな中で、自ら積極的に先生のもとに出向いて（手話通訳を通して）教えを乞うなど、日本代表を意識して練習に取り組む姿勢も見られたことは非常に頼もしい限りでした。

2－2．世界ろう者柔道選手権大会 日本代表選手選考会の開催について

日 時：2020年2月8日（土）

場 所：埼玉大学（埼玉県さいたま市）

参 加：選手6名（全て男子、うち1名失格）、小椋・小林・事務局（1名）

協 力：埼玉大学柔道部の皆さま

全日本柔道連盟 甫井審判委員会副会長、審判委員4名、事務局

選考委員：全日本柔道連盟 野瀬清喜副会長、広島国際大学 瀬川洋先生

総 括：申込は6名いましたが、1名計量で失格となりました。残りの5名について試合形式で選考を行い、選考委員と協議のうえ、全員を世界選手権に送り出すことについて問題のないレベルであると判断し、日本代表選手として内定しました。

2-3. 世界ろう者柔道選手権大会（フランス）への選手派遣について

大会名：世界ろう者柔道選手権大会（2020 World Deaf Judo Championships）

開催日時：2020年4月14日～19日（当初予定）

開催地：フランス（ベルサイユ）

日本代表：選手5名（男子）

※当該大会に向けて選手選考を行う等準備を進めていましたが、主催のICSD（国際ろう者スポーツ委員会）より、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、大会開催日が2020年10月27日（火）～2020年11月2日（月）に延期するとの発表がありました。しかし、今後も新型コロナウイルス感染拡大の影響は世界的に続く予想されるため、引き続き大会開催情報等、情報収集に努めます。

3. 一般財団法人全日本ろうあ連盟との連携

当協会を立ち上げる以前より（一財）全日本ろうあ連盟スポーツ委員会が中心になり、ろう者の武道競技である「柔道」「空手」「テコンドー」については、これまでの1団体が複数競技を統括する体制から「1競技1団体」を基本とすることとして団体再編を進めています。また、それぞれの競技の国内競技連盟（NF）に協力を仰ぎ、連携を深めていくこととしました。

当協会は、その団体再編の方針に基づき「ろう者の柔道競技活動を通して、ろう者の社会参加活動を促進するとともに、ろう者自らも社会貢献活動を行い、ろう者の心身の健全な発達と活力のある日本社会の構築に寄与すること」を目的として、新規に設立しました。

設立から当面の間は、公平性を確保するために全日本ろうあ連盟から役員を派遣し、法人格の取得や手話言語通訳の派遣、また事務局を全日本ろうあ連盟本部事務所内に置くなど、運営面で連携をし、ろう者柔道選手が強化・競技活動に専念できる環境を整えています。

4. 公益財団法人全日本柔道連盟（全柔連）からの協力・支援

柔道団体の国内競技連盟である「公益財団法人全日本柔道連盟」（以下、全柔連）については、当協会の設立前よりろう者柔道の発展に多大な協力をいただいています。2018年11月に全日本ろうあ連盟の役員が全柔連に訪問をし、ろう者柔道に対する協力を依頼して以来、ろう者柔道に対して理解を示してくださり、良好な関係を保っています。

全日本ろうあ連盟スポーツ委員会の事業として、2019年4月20日（土）には東京学芸大学（東京都小金井市）にて「ろう者柔道競技新団体（仮称）設立説明会（合同練習会）」を開催し、ろう者柔道関係者12名の参加がありました。また、同年6月23日（日）には同じく東京学芸大学にて「アジア太平洋ろう者競技大会 柔道競技日本代表選考会」を開催し、会場提供の幹旋や、選考委員や審判の派遣など、協会設立前より協力を得ることができました。

当協会設立後についても、2019年10月開催の「順天堂大学柔道部との合同強化合宿」、2020年2月開催の「世界ろう者柔道選手権大会 日本代表選手選考会」では関係者への連絡、選考委員・審判員の派遣等、多大な支援をいただいています。

今後、全柔連内に「ろう者柔道担当」役員の設置、世界ろう者柔道選手権大会のスタッフの人選や、全柔連の各支部に対してろう者選手の発掘調査協力など、引き続きろう者柔道の発展と啓発の協力を仰ぐ予定です。

5. 団体運営について

5-1. 会員について

正会員、選手会員、指導者会員、賛助会員の4区分を設定。(総会議決権は正会員のみのみ)

○2019年度末(2020年3月31日)現在 会員数

正会員…8名、選手会員…5名、賛助会員…5名(個人) 計18名

5-2. 理事会の開催

○第1回理事会

日 時: 2019年12月12日(木)

場 所: オンライン会議(Skype)

出 席: 小原・倉野・小林

議 題: 世界選手権(フランス)選考方法・派遣人数・資金確保、強化委員会について

○第2回理事会

日 時: 2020年2月25日(火)

場 所: オンライン会議(Skype)

出 席: 倉野・小林

議 題: 世界選手権への派遣スタッフ選定、JP S A・J P Cへの登録・加盟について

○第3回理事会

日 時: 2020年3月13日(金)

場 所: サンパール荒川(東京都荒川区)

出 席: 小原・倉野・小林

議 題: J P S A・J P Cへの登録・加盟について、各種規程の整備について、
2020年度計画・予算(案)について

5-3. Webサイトの開設と事務局体制

当協会の事業や強化活動、ろう者柔道に関する情報を発信するため、2020年1月21日に「日本ろう者柔道協会」公式Webサイトを開設しました。

WebサイトURL: <https://www.jfd.or.jp/jdja/>

事務局体制については、協会の口座を開設、会計はクラウド型の会計ソフトを使用し、適正な財務管理に努めています。また、現在会員への連絡はメールを主体に行っていますが、今後さらに円滑に進めるよう、各種メーリングリストやグループウェアの活用も視野に入れていきます。

5-4. 今後の課題

- ・日本障がい者スポーツ協会の登録、日本パラリンピック委員会の加盟
- ・ろう者選手の発掘と選手の強化体制の確立
- ・ろう者柔道の啓発と普及
- ・団体運営のための財源の確保と組織拡大(会員拡大)
- ・全柔連等関係団体との連携、指導者・団体運営スタッフの育成